

2026 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/デザイン科学域/ : /Academic Field of Design/	年次/Year	/2 年次/ : /2nd Year/
課程等/Program	/デザイン・建築学課程・課程専門科目/ : /Specialized Subjects for Undergraduate Program of Design and Architecture/	学期/Semester	/前学期/ : /First term/
分類/Category	// : //	曜日時限/Day & Period	/月 4-5/ 木 2-3 : /Mon.4-5/Thu.2-3

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	13882401			
科目番号 /Course Number	13160021			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	西洋建築史※2024 年度以前入学者用 : History of European Architecture			
担当教員名 / Instructor(s)	/(西田 雅嗣) : NISHIDA Masatsugu			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	歴史的な枠組みの中で、時代様式を道案内にして「ヨーロッパ建築」を理解することを目的とする。歴史的時代区分に従いつつ、造形的な時代様式区分を軸に、各時代様式の建築的特徴と変遷と代表的建築を概観する。「建築」という名の下に、我々が何を考えて、どうそれを造って来たのか、またそれを現代の我々がどう捉えているのかを、建築という文化現象の中に分け入って考えて行きたい。ヨーロッパの建築の歴史は我々現代の日本人の建築の歴史でもあるというリアリティを持って学びたい。
英	This lecture aims to understand "European architecture" in a historical framework, guided by stylistic periodisation. An overview of architectural characteristics, evolutions, and representative monuments of each era style, based on the historical periodisation and focusing on the representative characteristic of each historical style. Under the name of "architecture", we think about what we thought and how we built it, and how we perceive it today in the cultural phenomenon of architecture. This lecture recommends to the students to learn with the reality that the history of European architecture is also the history of modern Japanese architecture.

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	ヨーロッパ建築の歴史の大きな流れと時代様式という考え方について学ぶ。 古代ギリシア建築にヨーロッパ建築の美のあり方の基本的性格を学ぶ。 古代ローマ建築にヨーロッパ建築の成立の様子を学ぶ。 初期キリスト教建築にキリスト教建築の原形と宗教的空間の基本的性格を学ぶ。 ビザンティン建築にドーム空間の意味と技術学ぶ。

	<p>プレ・ロマネスク建築にヨーロッパのキリスト教建築の基本的性格の萌芽を学ぶ。</p> <p>ロマネスク建築に建築の聖性の具体的あり方を学ぶ。</p> <p>ゴシック建築にもう一つの聖なる建築のあり方を学ぶ。</p> <p>ルネサンス建築に古代をモデルとすることの意味とその諸相を学ぶ。</p> <p>バロック建築に社会的プロパガンダとしての建築のレトリックの様子を学ぶ。</p> <p>古典主義建築に建築の知的営為としての古典主義というあり方を学ぶ。</p> <p>新古典主義建築に近代合理主義の思考と建築表現の間の乖離を学ぶ。</p> <p>歴史主義と折衷主義の建築に様式の崩壊と新たな建築モデルの模索の様子を学ぶ。</p> <p>西洋の建築は古典系の建築と中世系の建築に分けることができるということを考える。</p> <p>まとめ</p>
英	<p>Learn the historical evolution in European architecture and the concept of period style.</p> <p>Learn the basic characteristics of the beauty of European architecture from ancient Greek architecture.</p> <p>Learn about the creation of European architecture from ancient Roman architecture.</p> <p>Learn the basics of Christian architecture and the basic characteristics of religious space in early Christian architecture.</p> <p>Learn the meaning and technology of dome space from Byzantine architecture.</p> <p>Learn the beginning of European Christian architecture from pre-Romanesque architecture.</p> <p>Learn the specifics of architectural sacredness from Romanesque architecture.</p> <p>Learn another holy architecture in Gothic architecture.</p> <p>Learn the significance and aspects of using antique model in Renaissance architecture.</p> <p>Learn the rhetoric of architectural propaganda in Baroque architecture.</p> <p>Learn the classicism in architecture as the intellectual sophistication of the architectural style.</p> <p>Learn the architectural expression of the enlightenment in architecture of neo-classicism.</p> <p>Learn the process of stylistic collapses and germ of modernism in historicism and eclectic architecture .</p> <p>Consider that European architecture consists of classical and medieval architecture.</p> <p>Conclusion</p>

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)

日	
英	

授業計画項目 Course Plan

No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	時代様式：イントロダクション	代表的な建築物の画像を通覧して、古代から 19 世紀までのヨーロッパ建築の歴史の大きな流れを概観する。また、時代様式の成立の過程を通して歴史観としての時代様式を考え、時代様式という見方の意味と限界を考える。
	英		
2	日	古代ギリシア建築：古典古代の建築 - 1	特に神殿建築を通して、その後のヨーロッパ建築の特質の基盤をなすこととなった建築美のあり方とその方法について学ぶ。また、古代ギリシア建築の変遷と代表的建築について学ぶ。
	英		
3	日	古代ローマ建築：古典古代の建築 - 2	強・用・美という建築の三つの理の成立を古代ローマ建築の諸相の中に検証し、空間の成立に代表される建築としての成立を学ぶ。また、古代ローマ建築の変遷と代表的建築について学ぶ。
	英		
4	日	初期キリスト教建築：中世の建築 - 1	ローマ帝国末期から中世の始まりにかけて成立したキリスト教建築の最初の姿を通して、バシリカ式と集中堂式という二つの原形の意味と基本的性格を学ぶ。また、初期キリスト教建築の変遷と代表的建築について学ぶ。
	英		
5	日	ビザンティン建築：中世の建築 - 2	ビザンティン建築にローマ建築最後の姿と新しい独自の建築の成立を見る。特にドーム建築という集中堂形式の独自の展開課程を通して、集中堂式建築の特質とその展開を学ぶ。また、ビザンティン建築の変遷と代表的建築について学ぶ。
	英		
6	日	プレ・ロマネスク建築：中世の	中世の二大様式であるロマネスクとゴシックに先だって、ローマの影響を受けつつキリ

		建築－3	スト教建築のあり方を模索したプレ・ロマネスクに、中世建築の基本的なあり方の萌芽を、特にバシリカ式建築の変化の様子を通して学ぶ。
	英		
7	日	ロマネスク建築：中世の建築－4	ロマネスク建築にヨーロッパ中世建築の一つの完成形を見る。構造、形式、表現の諸側面にわたって、知的に極めて洗練された象徴的な聖なる空間の構造とありようを考える。また、ロマネスク建築の変遷と代表的建築について学ぶ。
	英		
8	日	ゴシック建築：中世の建築－5	ゴシック建築にロマネスクとは全く異なる心性で出来たもう一つの聖なる空間の完成形を見る。極めて感覚的に構造化された民衆のための聖なる空間の構造とありようを考える。また、ゴシック建築の変遷と代表的建築について学ぶ。
	英		
9	日	ルネサンス建築：近世の建築－1	ルネサンス建築に建築における近代の心性の萌芽を学ぶ。古代というモデルの意味、古代再生の建築的なあり方、そして古典主義建築の創始を、ルネサンスの代表的建築家の考えと代表的作品の中に見てゆく。
	英		
10	日	バロック建築：近世の建築－2	建築が社会状況に反応し、他の芸術と手を組んで一つの政治的、宗教的プロパガンダとして形を変えたバロック建築のありようを、代表的建築家の作品を通して、目的実現のための建築的レトリックの実際を見る事で学ぶ。ドイツ圏とスペインのバロックも概観する。
	英		
11	日	古典主義建築：近世の建築－3	17～18世紀のフランスの建築に、古典主義洗練の諸相を見る。国家の建築として、如何に古典主義建築が体系化、規範化されて行くかを、古典への眼差しとともに、代表的建築家の作品を通して見て行く。また同時代のイギリス建築も概観する。
	英		
12	日	新古典主義建築：近世の建築－4	18～19世紀の新古典主義建築に、ますます考古学的になる古典主義的外観の建築の背後にある近代的建築思考を見る。考古学的眼差しと近代合理主義思想、そして実際の建築表現の間の関係や乖離を、代表的な建築家の考えや作品を通して学ぶ。
	英		
13	日	歴史主義と折衷主義の建築：近世の建築－5	精緻化する様式的建築観、それが生み出す美術史・考古学としての建築、そうした様式観を反映して独自の時代様式を持たずに折衷化する建築表現、さらにその背後で進行する建築の工業化、こうした諸相に様式の崩壊を見て取り、近代建築が準備される様を見る。
	英		
14	日	古典系建築と中世系建築	ヨーロッパ建築の理解の仕方の一つとして、編年史的な理解とは別に、ヨーロッパ建築は古典系と中世系に分けることも可能であることを、いくつかの観点についてこの両者が極めて対照的であることを知ることで学ぶ。
	英		
15	日	まとめ	編年史としての時代様式による共時態の通時的な過去への眼差しと、形態分類としての形式様式による通時態の共時的な過去への眼差しの二様の過去へのアプローチがあることを理解し、19世紀に成立した時代様式という考え方で編年史として過去の建築を見る歴史が、19世紀の西洋に独特の建築史のあり方であることを考える。
	英		

履修条件 Prerequisite(s)	
日	特になし。
英	none.

授業時間外学習（予習・復習等） Required study time, Preparation and review	
日	世界史の基礎知識があることが望ましい。パワー・ポイントを使って大量の画像を見せよう講義である。講義内容は教科書に概ね対応しているので、受講前に必ず教科書の該当箇所を読んでおくこと。
英	Students who wish to participate to this course are required to have basic knowledge of the history of Western culture. Lecture is carried out through projection of considerable number of slides by PPT. Each lecture corresponds to a chapter of

	the textbook. Students are required to read the chapter corresponding to each lecture before attendance.
--	--

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
-----------------------------------	--

日	教科書：西田雅嗣（編）『ヨーロッパ建築史』昭和堂、2,640 円 ISBN4-8122-9801-6 参考書：西田雅嗣（編）『カラー版図説 西洋建築の歴史』学芸出版社、2,750 円 ISBN978-4-7615-2794-5
---	--

英	Textbook : NISHIDA Masatsugu (ed.), History of European Architecture, Shōwadō, 2,640 JPY. ISBN4-8122-9801-6 Reference Book : NISHIDA Masatsugu (ed.), A History of Western Architecture, Gakugei-Shuppansha, 2,750 JPY. ISBN978-4-7615-2794-5
---	--

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
----------------------------	--

日	学期末に科す期末試験の成績で評価する。
---	---------------------

英	Evaluation is done based on the result of the final exam held at the end of the term.
---	---

留意事項等 Point to consider	
-------------------------	--

日	
---	--

英	
---	--